

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 6 4	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Sibling influence on alcohol use in a young adult, high-risk sample. 若い成人の高リスク標本におけるアルコール使用の兄弟への影響	
執筆者	
Trim RS, Leuthe E, Chassin L.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Stud Alcohol. 2006;67:391-8.	
キーワード	
兄弟、アルコール摂取	
<p><b>要 旨</b></p> <p>目的：            先行研究では、アルコール利用については兄弟で類似していることが示されているが、若い成人もしくは高リスクの兄弟に対する影響について検討されていない。本研究では、兄弟が将来にわたり互いのアルコール利用に影響を及ぼすか、性別の組み合わせ、年齢の差、家族間の諍いがこれらの影響を緩和するかについて検討した。</p> <p>方法：            アルコール依存症の子供に対する、現在進行中の経時研究において、兄弟のペア(n=169)とそのコントロールを対象として、5年間期間が離れた2時点にデータを収集した。</p> <p>結果：共有するピアグループへの加入や両親のアルコール中毒を調整しても、年長兄弟のアルコール利用が年少兄弟アルコール利用を予測することが分かった。変数投入による緩和によってもこの効果は認められたものの、年長の兄弟の影響は、性別が同一、年齢が近い、葛藤を抱えた家族をもつ兄弟のペアでのみ有意であった。年少の兄弟の影響はサブグループにおいて、相互の仲間的な効果が存在することが示唆されるような、兄弟の年齢が近いペアでのみ有意であった。</p> <p>結論：            今回の研究は、成人に至るまでのアルコール使用の兄弟の影響を示した。この影響の度合いは兄弟で性・年齢が近いこと、家族への葛藤のレベルに依存する。家族に立脚した理論の適用と介入効果が議論された。</p>	